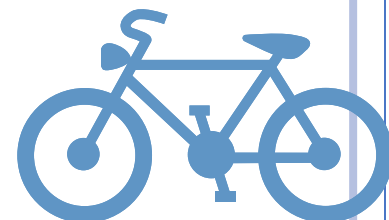


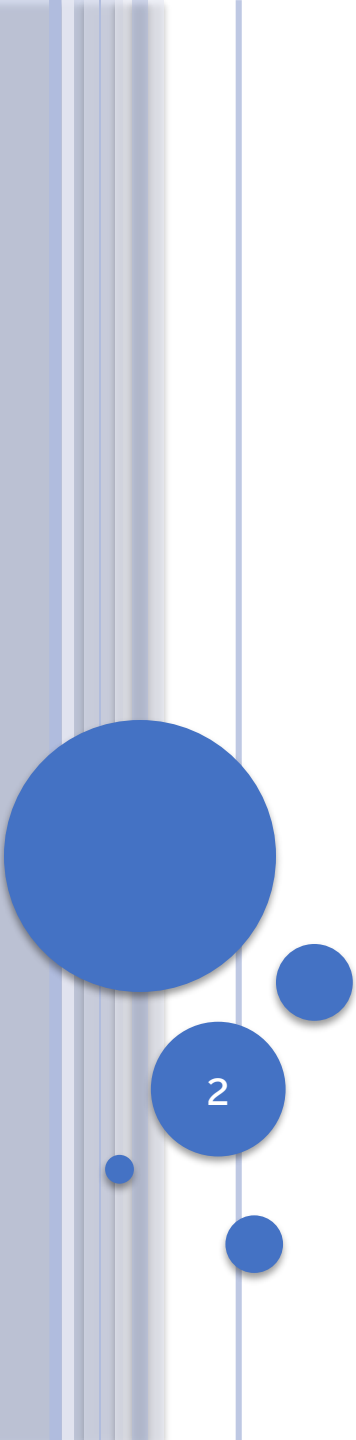
既存計画の更新

1. 既存計画の枠組み・・・・・・・・・・ 2
2. 調布市自転車ネットワーク計画・・・・・・・・ 4
3. 調布市自転車等対策総合計画及び
調布市自転車等対策実施計画・・・・・・・・ 11

令和 7 年 5 月 2 9 日



1. 既存計画の枠組み



2

既存計画の枠組み

- これまで自転車に関する施策は個別の計画で対応してきたが、近年の自転車を取り巻く状況に対応できるように、これらの計画を更新する。
- そのうえで、自転車活用推進計画の個別施策としてそれぞれの計画の更新した内容を組み込む。

現在

自転車ネットワーク計画

- ・ 自転車ネットワークの形成

自転車等対策総合計画及び 自転車等対策実施計画

- ・ 地域ニーズを踏まえた駐輪場整備

これから

自転車活用推進計画

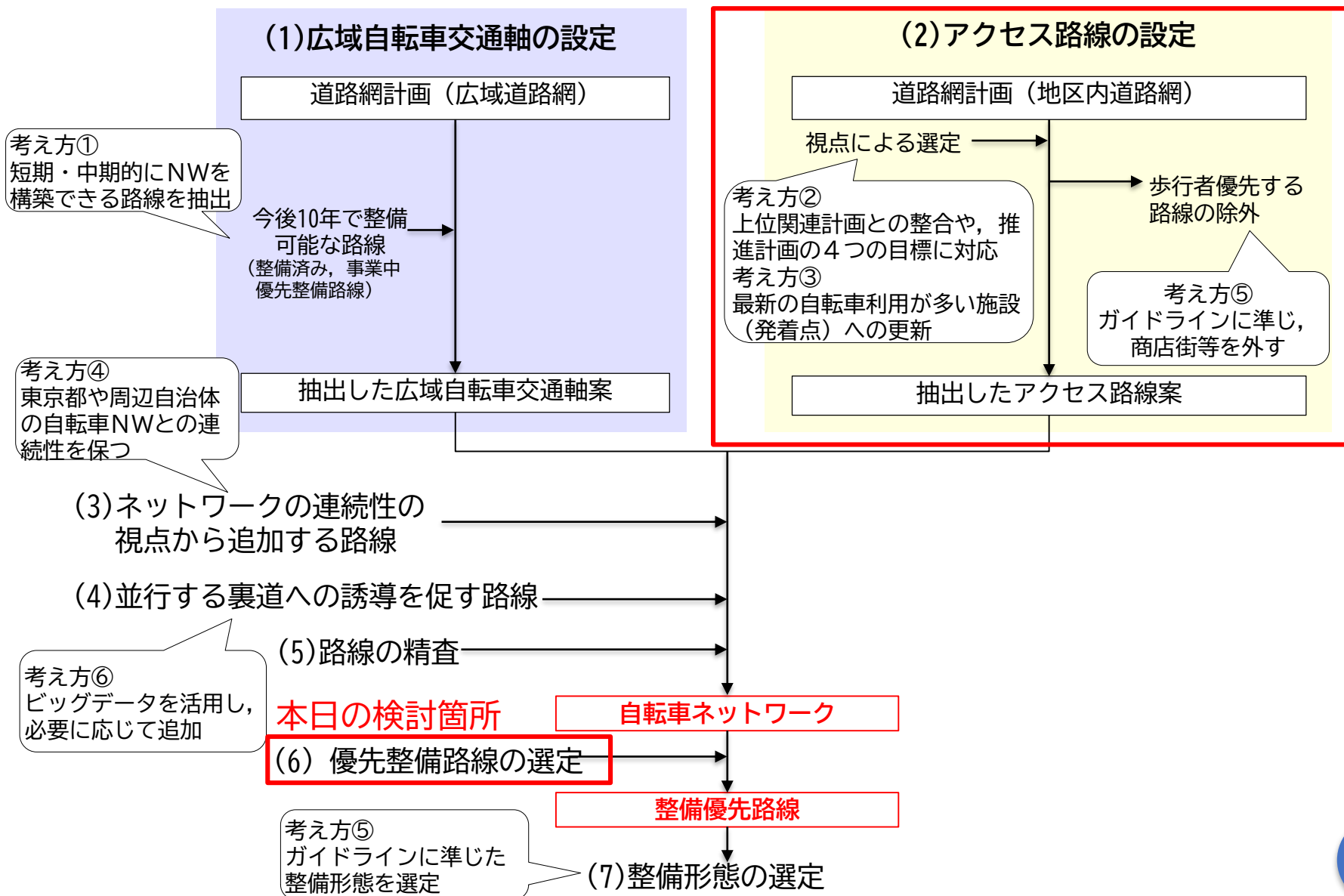
- ・ 自転車ネットワークの形成
- ・ 地域ニーズを踏まえた駐輪場整備
- ・ 健康づくりの推進
- ・ 観光への自転車活用
- ・ 安全な自転車利用の促進 等

2. 調布市自転車ネットワーク計画

全体フロー

- 以下のフローで自転車ネットワークを構築する。

本日の検討箇所



アクセス路線の設定 詳細フロー

(2) アクセス路線の設定

道路網計画（地区内道路網）

広域自転車交通軸を
補完し、**6つの視点**
に該当するアクセス
路線を一次的に抽出

歩行者を優先する路
線の除外（追加）

アクセス路線案

見直しの考え方④

ガイドライン※に準じ、商店街等で歩行者専用道路の規制（時間規制含む）がされており、歩行者を優先する路線が含まれている場合は、自転車ネットワークから除外

※ 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン
（国交省・警察庁 令和6年6月改正）

見直しの考え方②

上位関連計画との整合や、推進計画の4つの目標に対応した視点を再設定

見直しの考え方③

最新の自転車利用が多い施設（発着点）への更新

推進計画 の目標

都市
環境

安全・
安心

健康・
観光

構築の視点と路線選定の考え方

視点①鉄道駅へのアクセス

広域自転車交通軸と駅周辺を結ぶ路線

視点②バス停へのアクセス（追加）

広域自転車交通軸と主要なバス停を結ぶ路線

視点③地域拠点や主要施設へのアクセス

広域自転車交通軸と郊外部の学校等の主要な施設を結ぶ路線（自転車利用が多い施設に更新）

視点④河川敷へのアクセス（追加）

広域自転車交通軸と河川敷を結ぶ路線

視点⑤観光資源へのアクセス

広域自転車交通軸と観光資源を結ぶ路線

視点⑥歩行者の安全の確保（追加）

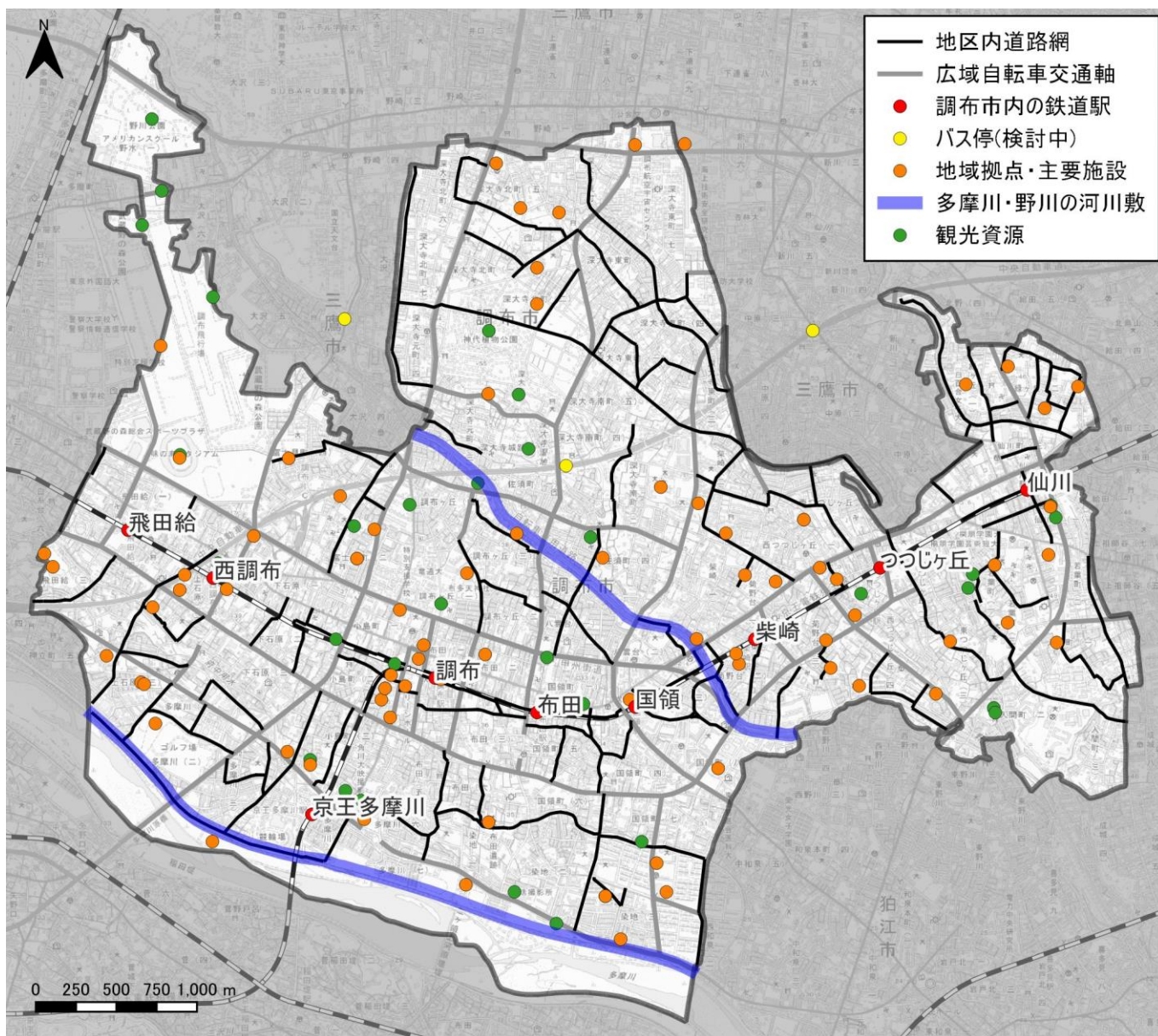
病院、福祉施設周辺で自転車通行の経路になっている路線

アクセス路線の設定 発着点となる施設の考え方

- 各視点の路線選定に対して、発着点として抽出する施設を設定する。

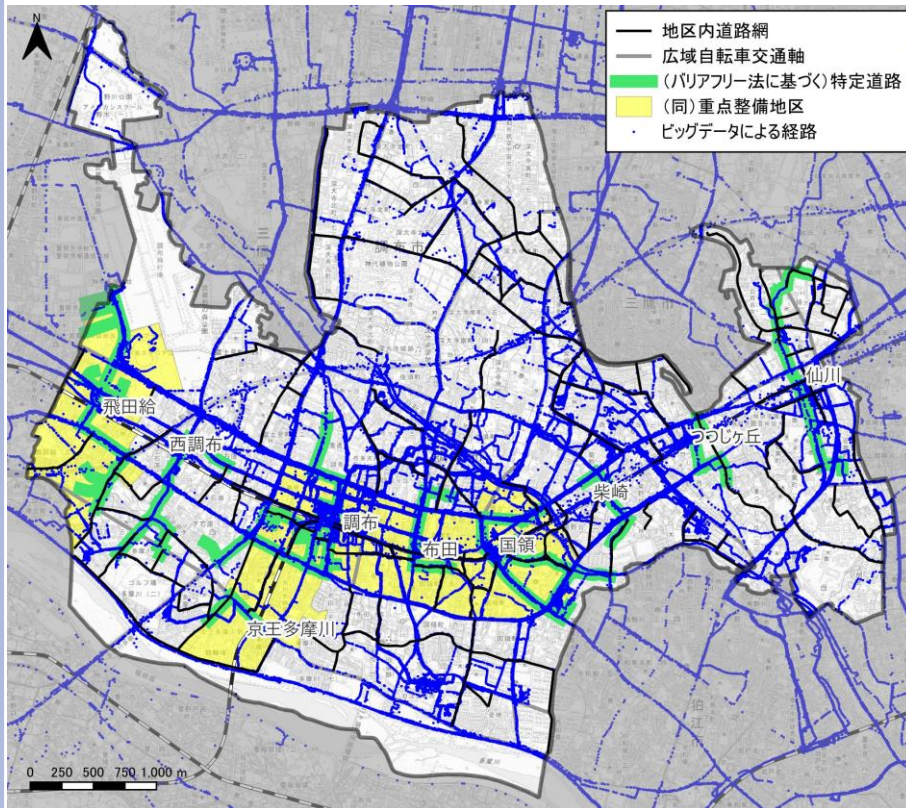
構築の視点と路線選定の考え方	発着点となる施設の抽出
視点①鉄道駅へのアクセス 広域自転車交通軸と駅周辺を結ぶ路線	市内の全駅
視点②バス停へのアクセス(追加) 広域自転車交通軸と主要なバス停を結ぶ路線	地域公共交通計画との連携（検討中）
視点③地域拠点や主要施設へのアクセス 広域自転車交通軸と郊外部の学校等の主要な施設を結ぶ路線（自転車利用が多い施設に更新）	地域拠点や主要施設 （現行計画の施設の更新＋ビッグデータより医療施設、商業施設、スポーツ施設を追加）
視点④河川敷へのアクセス(追加) 広域自転車交通軸と河川敷を結ぶ路線	ちょうふ多摩川おさんぽロード， 野川サイクリングロード
視点⑤観光資源へのアクセス 広域自転車交通軸と観光資源を結ぶ路線	調布市観光マップに掲載の5コースにてスポットになっている施設等
視点⑥歩行者の安全の確保(追加) 病院，福祉施設周辺で自転車通行の経路になっている路線	（バリアフリー法に基づく）特定道路とビッグデータによる複数人利用が見られる経路 （※9ページに示す）

アクセス路線の設定 発着点となる具体の施設

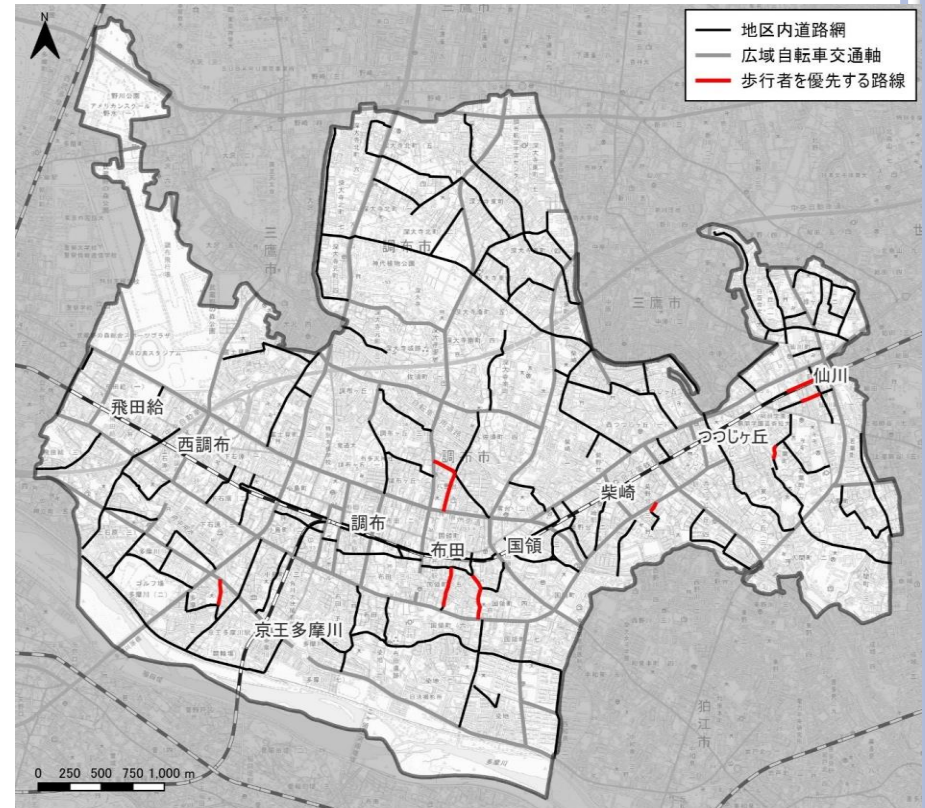


アクセス路線の設定 経路選定の考え方

構築の視点	経路選定の考え方
視点①～⑤	広域自転車交通軸と発着点となる施設を結ぶアクセス経路
視点⑥ 歩行者の安全の確保	(バリアフリー法に基づく) 特定道路とビッグデータによる複数人利用が見られる経路 (下左図)
除外路線	ガイドラインに準じ、歩行者を優先する路線として商店街等を抽出し、評価から除外 (下右図)



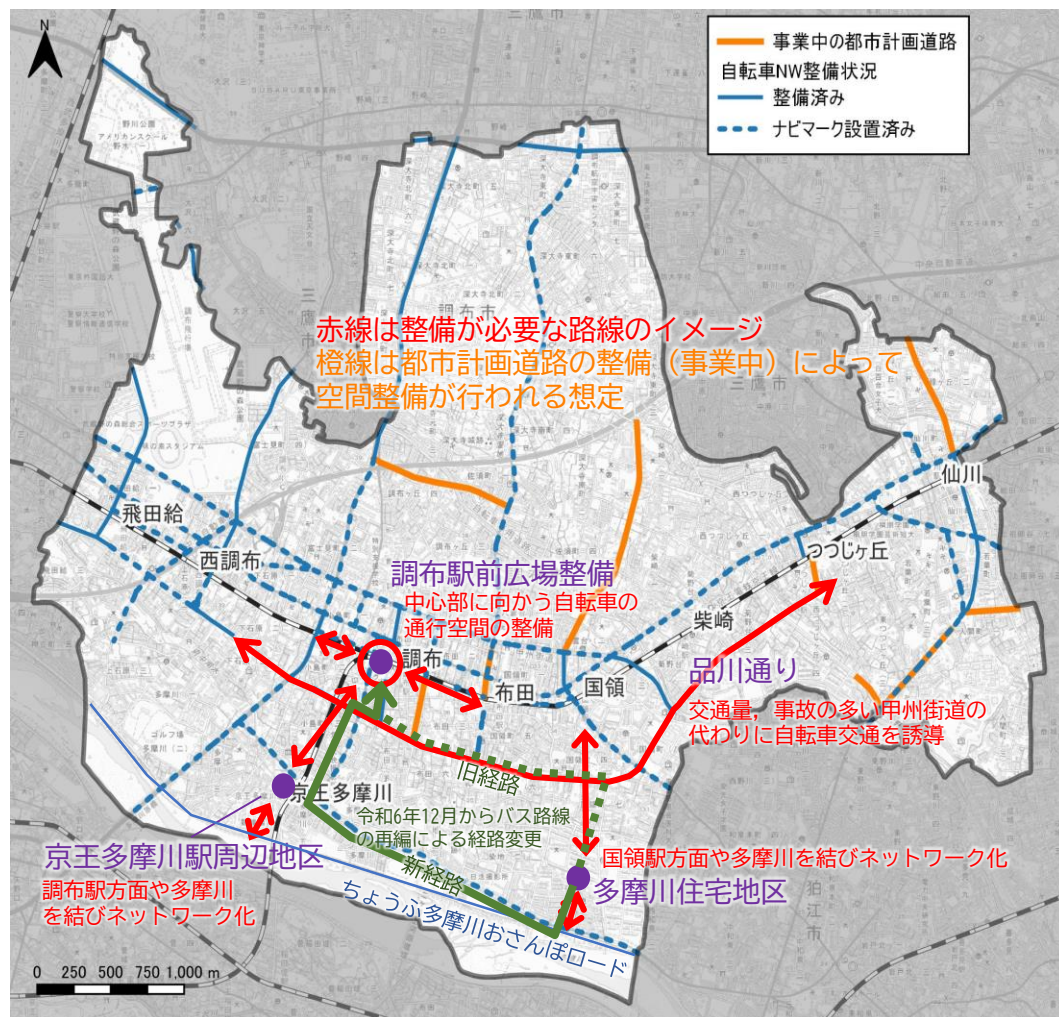
視点⑥歩行者の安全の確保に資する路線の抽出イメージ



歩行者を優先するため除外する路線

優先整備路線の選定

- ・ 調布駅前広場整備，多摩川住宅地区，京王多摩川駅周辺地区のなかから，3地区に関連する路線を整備優先路線として選定し，優先的に整備する。
- ・ また，ビッグデータをみると東西方向の需要があるなかで，自動車交通量の多く事故の多い甲州街道に代わる路線として，品川通りも優先整備路線とする。



3. 調布市自転車等対策総合計画及び 調布市自転車等対策実施計画

駐輪場施策の見直しの考え方

- ・ 駐輪需要を各駅周辺にて調査を実施し、将来の需要予測を行う。
- ・ この結果をもとに駅ごとの駐輪場整備の方向性を定め、具体的な施策を検討する。

■大まかなフロー

駐輪需要の調査（台数）

- ・ 供給量調査
- ・ 駐輪場調査
- ・ 放置自転車調査

駐輪利用に関する分析

- ・ 定期／一時の区分（公社データ等）
- ・ 利用者の住所（公社データ等）
- ・ 目的、行先等（パーソントリップ調査等）

将来の駐輪需要の予測

駅ごとに将来の駐輪需要を算出

- ・ 将来人口推計（駅勢圏）
- ・ 開発見込み等

感度分析

シナリオを複数想定して予測

- 例）
- ・ 自転車利用が増加する場合
 - ・ 自転車利用が減少する場合

調布市自転車活用推進計画
駐輪場施策に反映

- ・ 需要調査は昨年度に3駅実施済み
- ・ 本年度に残り6駅を実施

駐輪場施策の方針

- ・ 令和2年度に改定した「調布市自転車等対策実施計画」から、コロナ化を経た人々のライフスタイルの変化や、新しいモビリティの拡大などがあった。
- ・ さまざまな状況の変化を把握し、将来の駐輪の需要（台数）と、利用状況に応じた駐輪場施策の方針を決定する。

■主なトピック（案）と使用するデータ等

公共の駐輪場の整備方針（収容台数の確保）

- ・ 駐輪場需要台数調査
- ・ 市内の開発の情報
- ・ 駅勢圏別の将来推計人口
- ・ シェアサイクルの普及状況

局地的に駐輪場が不足／不便な地域への対応

→駅の北側と南側で整備状況に差がある地域など

- ・ 駐輪場需要台数調査
- ・ 利用者の居住地（公共駐輪場）
- ・ アンケート，オープンハウスにて意見収集

その他の利便性向上施策

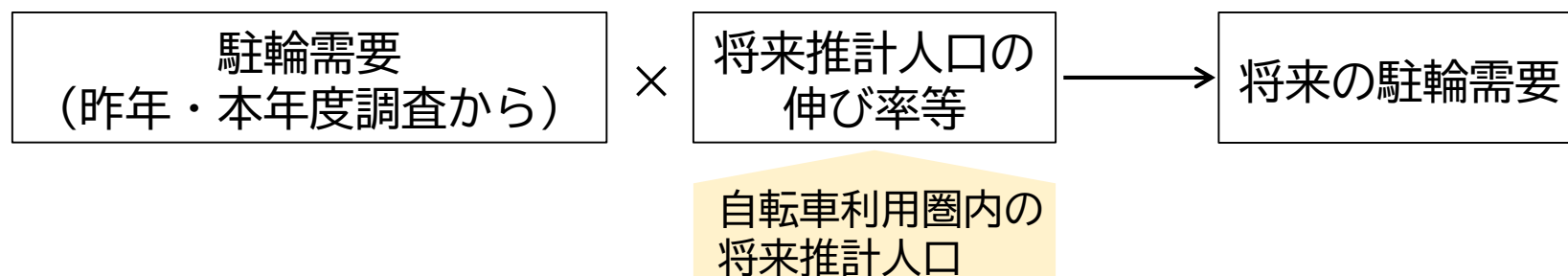
→使われ方の変化や新しいモビリティへの対応など

- ・ 定期／一時別の利用状況データ（公共駐輪場）
- ・ 駐輪場利用時の目的，行先など（パーソントリップ調査）
- ・ 駐輪場需要台数調査（車両のタイプ）

将来の駐輪需要とシナリオ別の分析

- 将来の駐輪需要の算出にあたっては、自転車利用による駅勢圏内の将来推計人口を用いる。
- あわせて、自転車を利用する人が10%増加したケースと、自転車の利用率が10%減少したケースを別途想定し、施策検討の参考とする。

■将来の駐輪需要の算出



■自転車利用の増加／減少シナリオ

増加シナリオ	例) バスの統廃合により、自転車利用者増加したケース	自転車需要が+10%
減少シナリオ	例) シェアサイクルのさらなる拡大により、保有する自転車が減少したケース	自転車需要が-10%

開発動向，シェアサイクルの拡大状況や意見を鑑みて，
駅別の整備の方針および施策を決定